

# 『時事直言』 No.1785 2026年1月29日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019) [Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

## トランプと習近平の世界

昨年11月に発表された「国家安全保障戦略」でアメリカの安全保障指針が明らかになった。

戦後アメリカは「世界の警察官」として世界の秩序に責任を持ってきたが、新たな指針では世界覇権から「西半球覇権」に責任範囲が縮小された。

アメリカは今まで中国を仮想敵国として対立してきたが、新たな指針では「G2(Group 2)」の名の下に、オバマ政権以来習近平が望んできた「米中戦略的パートナーシップ」を目指すことになった。

2026年4月トランプ訪中トランプ・習近平首脳会談、夏には習近平訪米、11月には中国深圳で開催されるAPEC12月にトランプ出席、さらに12月フロリダで開催されるG20に習近平出席等々でトランプと習近平は年内4回会談する。

「西半球トランプ、東半球習近平」をベースにした「世界秩序の枠組み」の大筋が年内に決まることになるだろう。

1月23日発表の国防総省の「国家防衛戦略」で、中国の高度な軍事力を認めた上で対中抑止力を持つためには「同盟国の貢献が不可欠」とし、アメリカ単独では困難であることを認めている。

対中相互関税も同盟国への防衛力増大要求もG2体制において中国の優位性に対処する為である。高市内閣の防衛費倍増(GDP比1%から2%プラスへ)、三文書改訂(自衛隊に敵基地先制攻撃能力を持たす)、さらに対中軍事包囲網クアッド(日米豪印)の強化もアメリカの対中劣後穴埋めの為である。

高市政権の強い経済、強い防衛力、自主防衛、自主外交の大義名分が果たしてG2体制に合致するのか。

日中関係悪化はトランプも習近平も利用出来る。

高市早苗様、どうかトランプと習近平の使い捨てにならないようご注意ください。

私の小冊子 Vol. 155 お申込みは、<https://www.musrjec.com/>

### 大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.155

#### 『「力の意志」(暴力)がまかり通る時代』

現在増田俊男の小冊子 Vol. 155 は大好評発売中です。

内容は、\*まだ一人前になれない日本 \*政治・経済死に体から目覚める日本 \*「能ある鷹は爪を隠す」を捨てた習近平 \*「朕は法なり」のトランプと習近平 \*「欧州の良識」が消滅する時 \*露わになる「下剋上」 \*アメリカが日本を詰め込んだピンの蓋を開ける時 \*ニッケイ10万円があるかないか、それは高市早苗にかかっているです。価格は、1冊5,800円(送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。